

※炭道具※

炭斗 炭斗は組み物でできたもの、ふくべ、折敷、炭台などがある。

籠では、籐、竹、つるなどで作られたものがあり、なかでも唐物が喜ばれる。組み物のうち利休形で炉用に油竹炭斗、風炉用に鱗形が代表的なものである。

油竹炭斗はその後、了々斎によって、風炉用の小さいものが好まれた。その他にも籠炭斗として宗全好みの二枚重がある。

木地の利休形炭台は、正月などのあらたまった時に使われ、桧木でできており、小奉書を二枚折りに敷いて使われる。

元伯好みで、一閑折敷、丸い物に葛桶の炭斗がある、

炭斗は炉と風炉ではそれぞれ炭の大きさが異なるため、一般的には大きい物が炉で、小さい物を風炉で使う。

ふくべの炭斗は、口切りの頃に新瓢を切って用いる慣わしがある。手付きの炭斗は、手を縦にして用い、侘びた老人用とされている。また勝手用炭斗として、桑炭斗がる。

羽箒 羽箒は炭斗につけて、炉や風炉を清めるのに用いる。羽箒の

羽には、鶴、青鸞、鷹、鷺、白鳥、梟、鷺、鴻、野雁などが使われる。大きさには特別な定めはなく、炭斗の大小によって適当に使い分けられる。羽は三つ羽と言って、ふつう三枚重ねて手元を竹皮でつつみ、こよりで結んである。柄の先は

流儀によって多少の相違がある。

一枚羽は、桑柄を付けてあり野雁の真の羽箒として用いられている。野雁の一枚羽がふつうは使われ、炉、風炉共に用いられる。羽箒には左羽と右羽とがあり、左の広いものを左羽、右の広いものを右羽と言う。左羽が炉用、右羽が風炉用に用いられる。逆勝手の場合には、この関係が逆になる。勝手用のものは、つかみ羽があり、尾羽などを数枚重ねてたばねたもので箱炭斗用である。

火箸

火箸には、砂張、真鍮、鉄などがあり、細工の方法としては打ちのべ、素張り（空打ち、巢打ち）鑄ぬきの三種類があり、象眼などで模様を入れたものもある。炉用と風炉用とに大別され、木の柄がついているものが炉用で、普通は桑柄が最も多く、利休形でほかに唐木、黒柿、桜皮巻などがある。形も丸、角、扁平のものなどもある。杓立てに飾る飾り火箸には、炉、風炉の区別がない。飾り火箸の長さは一定せず、頭には飾りをつけているものが多い。飾り火箸の好みでは、利休形の丁呂木、宗全好みの椎頭、如心齋好みの鳥頭、みみずく頭、碌々齋好みの渦頭、惺齋好みの瓢筆頭、菊頭などが代表的なもので、その他にもわらび、蟹など数多い形がある。

唐物火箸には、鉄象眼や砂張、真鍮などがあり、昔から珍重

されている。このほかに長火箸といって、勝手の半田炮烙用に、鉄火箸がある。一尺三寸ほどで柄のところを皮巻きにし紺麻糸であらく巻いてある。長火箸にも炉用、風炉用の区別があり、風炉用には竹を巻かない。頭の形には輪の頭、けしの実などがある。

鑲

鑲というのは、釜の上げ下げに使われる道具で、これには鉄、真鍮、南鐮、砂張などがある。利休形には、石目、ささげ鑲があり、また碌々齋好みには真鍮鑲や、惺齋好みで鉄ささげ相生鑲などもある。普通の鑲と合わせ目が、逆になっている真鍮鑲もあり、左鑲といって、真の鑲である。そのほかにも輪になっていない常張鑲や蜻蛉鑲など特殊なものもある。

釜敷

古くは釜置きとも呼んで、紙、藤、籐、竹、糸組、蒲、竹皮、のあんだもの、竹の節、木のものなどがある。最もあらたまった時には、紙釜敷を使う。利休が懐紙を用いたのが紙釜敷のはじまりと言われている。美濃紙一帖を四つ折りにして、用い、ほかに杉原小菊、団紙、などの用紙も用いる。好みとしては、紅白紙（惺齋好）、しょうぶ重ね（即中齋好）などがある。籐組は紹鷗が見立てたといわれ、藤組と木は利休形で、木は現在勝手用に使われ、桐木地の四角いものの隅を落としたものである。勝手用箱炭斗につけている。竹の節のものは

宗旦好みであり、如心齋好みでは太葎の釜敷がある。糸で菊に組んだものには、碌々齋好みと、惺齋好みがある。竹皮製のものは、わびたときに使われる。

灰器

灰器には炉用と風炉用があり、炉用のものは大ぶりで、風炉用のものは小ぶりである。炉用には素焼きのものを使い、風炉用にはくすりのかかったものを用いる。焼貫のもの、今戸焼き、雲華焼きのものはその大きさに、炉、風炉の使い分けをする。また炉、風炉兼用のものも中にはある。

灰器は炉の炭手前には必ず用いるが、風炉の場合には、土風炉でまき灰がしてあるときのみ用いられる。灰器は楽焼きのものが最も多く使われ、ほかには南蛮のもの、墨田川焼き、雲華焼き萩焼き（惺齋好み）、大樋焼きなどがある。

灰匙

灰匙には、炉用、風炉用の二種類がある。炉用のものは大きく、利休形は桑柄で、匙が柄に差込になっており、少庵好みはびょう打ちになっている。元伯好みは柄の形が四方に削ってある。南鐐のものや、特殊なものとして、楽焼（元伯好み）のものが。風炉用のものは小型で、柄が長く、柄は必ず竹皮巻になっている。